

日経配当指数、15年の最終値 3年連続で過去最高を更新

日本経済新聞社が1日まとめた日経平均・配当指数(2015年)の最終値は326円72銭と、14年に比べ61円60銭上昇し、データのある1998年以降で最高になった。指数が上昇するのは6年連続で、昨年に続き3年連続で過去最高を更新した。

日経配当指数は、日経平均株価の構成銘柄をある年の1月から12月まで保有していた場合に得られる配当額を指数化したもの。3月末で15年分の配当額が確定したため、最終値が決まった。

14年との比較可能な構成銘柄のうち、増配したのは130銘柄と、減配の19銘柄を大きく上回った。上昇への寄与度が大きかったのはファナック(6954)や京セラ(6971)、東京エレクトロン(8035)などだった。

決算期が集中する16年3月期末の配当は6月の株主総会後に16年の指数値に反映される。

※日経平均・配当指数についての詳細は[こちら](#)。